

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902488		
法人名	有限会社 ライフステージ		
事業所名	グループホーム ひだまりの家		
所在地	北海道旭川市神楽4条1丁目2番4号 (電話) 0166-69-2222		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月21日	評価確定日	平成19年7月9日

【情報提供票より】(平成19年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	5人, 非常勤 5人, 常勤換算 4.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	4,000円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(6月10日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2			
要介護3	2名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 81.3歳	最低	74歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・旭川南病院・いまみや歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

主要な幹線沿いに位置して交通の利便性に優れ、パークゴルフの盛んな河川敷きが近接した閑静な住宅街に開設されたグループホームである。敷地内は広く、ホーム主催の夏祭りの開催や畑では、じゃがいもやほうれん草などの作物を栽培したり、園芸ボランティアも参加して花などが玄関や中庭に植えられ家庭的な雰囲気を味わえたり季節感が感じられる空間となっている。また、広い共用空間からは中庭に出られるようにウッドデッキも配置され、花火見物や日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。運営推進会議も評価日現在1回実施され、地域に密着したサービスの取り組みがされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	開設間もない為、外部評価は今回初めての受審です。運営理念の達成の為に具体的な「ケアの方針」を設定すると共にその達成に取り組まれています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は評価の意義を確認し合い少しずつ理解が深められています。また、自己評価に取り組む中で職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。議題については運営推進会議の意義について(地域密着型サービスについて) グループホームに期待される役割について ひだまりの理念について(五つのあい) ケアの方針について 運営推進会議の年間予定についての質疑応答
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎日の「一行日記」で利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に情報提供され喜ばれています。また、意見や相談、不安なことなどが言いやすい雰囲気づくりに取り組み、今後は、職員の紹介や運営推進会議の内容、認知症に対する理解・啓発に利用される予定です。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会役員を引受けたり、幼稚園児との交流を通じて地域の人達との連携に努めています。また、散歩や買い物、実習生やボランティアの受け入れ、運営推進会議に地域の代表が委員で参加戴いたり、日常生活を通じて地域との連携に努めて認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ひだまりの家の理念の「ふれあい」「支えあい」「思いあい」「語りあい」「広げあい」の五つの理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は運営理念を達成するために「ひだまりのケア方針」を具体的に掲げその実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の役員を引受けたり、ホーム主催の夏祭り、運営推進会議の実施など認知症に対する理解や広報の為に地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、職員も評価に加わりそれらを活かす取り組みがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは利用者の家族、地域の住民代表、医師、他施設の有識者、管理者・職員で構成され「サービス評価と運営推進会議を活かして」等のパンフレットを配布して具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営者及び管理者は市との連携についての重要性を良く理解しており日々取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「一行日記」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族にこまめに情報提供して喜ばれている。また、状態変化については都度連絡などして詳細に報告している。</p>		<p>「一行日記」でスタッフの紹介、運営推進会議の内容なども今後、記載して紹介していく予定である。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果や来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりや環境整備に心掛けそれらを運営に反映させる取り組みがされている。また、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる体制が整備されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、利用者が管理者・職員の移動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、グループホーム協議会や研究会などの外部の研修参加を奨励したり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施で職員を育てる取り組みがされている。		今後は、職員の他グループホームの見学をする機会の確保も検討・計画がされています。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や研究会への参加で同業者との交流が行われたり、ヘルパー実習の受入れや他施設との交流などでケアサービスの質の向上に取り組まれている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学や体験などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントに基づいて生活歴を把握して、職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、畑作業や園芸など本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩や買い物、習字、折り紙、塗り絵、刺繍、刺し子、歌唱、レクリエーションなどの趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		<p>ひだまり倶楽部での歌唱や踊りなどで他施設との利用者同士の交流も行われ楽しみの支援となっています。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な管理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、園芸や畑作業など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても内科医や歯科医の往診、看護師の訪問など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いや利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれている。また、個人情報保護法に配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の利用者の気持ちが把握され、散歩や買い物、冬まつり見学、りんご狩りなどの外出の支援や食事の準備、園芸、畑作業など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしている。また、寿司屋さんなどへの外食も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	折り紙や習字、歌唱、食事の準備や後片付け、ゲームやレクリエーション参加など一人ひとりの生活歴を活かした支援がされている。		本年は、レクリエーションの充実が目標として掲げられ様々な検討がされている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花壇や畑での作業、散歩や買い物、冬祭りへの参加や花見、酒造メーカー見学、食事会、夏祭りの実施など心身のリフレッシュや気分転換のための外出の機会も多くつくられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、玄関や居室に鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が実施されている。また、消防計画などマニュアルも整備され対策されています。</p>		<p>今後は、救急救命の訓練など早急に実施できるように計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、往診時などに内科医や栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い廊下や居間には、椅子やテーブルが多く配置され一人になったり利用者同士が中庭の花など見ながら談笑できるスペースが確保されたり、中庭では季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、仏壇や使い慣れた家具、ソファなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、手作りの作品や家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。